

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

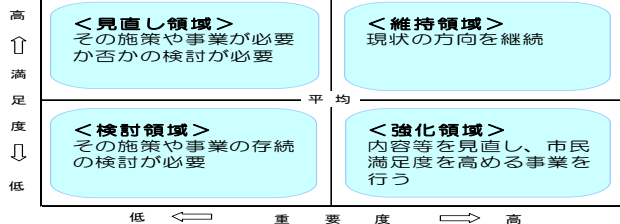
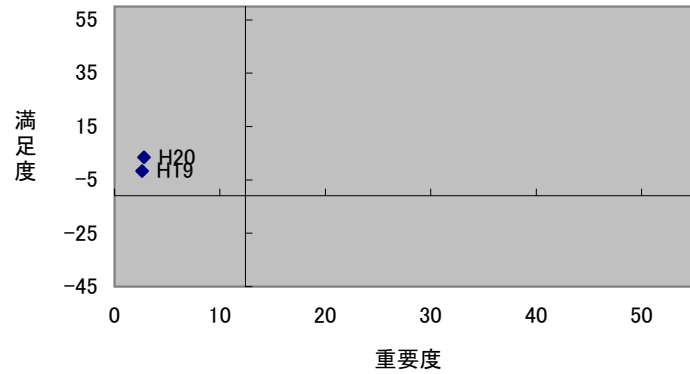
施策名 (小項目)	港湾・漁港	コード	01-01-13	作成者	都市整備課長 樽家真佐人 電話 64-1833
		役職		氏名	
				電話	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	漁業関係者、港湾利用者が安全で利用しやすい施設整備を図るとともに、市民が憩える安らぎ空間としての整備充実	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	備前市には、県管理港湾(片上、日生、中日生地区)及び市管理港湾(久々井、寒河、鴻島)がある。片上地区については、航行の安全を図るため航路浚渫の必要があり、日生地区については、放置艇などの係留施設の整備が必要であると同時に、台風時における避難場所の確保や防波堤の建設、観光港としての施設を充実するとともに、市民や観光客も憩える安らぎ空間としての周辺整備を県に要望していく必要がある。市管理港湾については、港の自然特性に合わせた整備が重要で、漁港については、県により年次的に整備が行われているが今後は、背後地について関係機関と協議を進めていく必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 港湾機能の充実を図るための港湾整備、維持補修の要望 中日生地区における、観光港としての施設整備充実 市管理港湾施設の維持補修の継続 漁港については、離島住民や観光客のための施設整備、維持補修の促進 	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	2.6	2.8	
満足度(%)	-1.7	3.5	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	前年に比べて満足度はアップしている。少しではあるが、高潮対策工事などの影響があるとおもわれつつあるため、今後も県などと協議を行いながら施策を進めていく。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 県工事実施率	目標 %	70	70	70	70	80	85	県工事実施箇所/県工事要望箇所	
	実績 %	56.5	77.8	25.0					
	達成率 %	80.7	111.1	35.7					
2 小型船舶係留施設利用割合	目標 %	90	90	90	90	95	100	係留施設利用件数/係留施設区画数	
	実績 %	77.5	85.9	85.0					
	達成率 %	86.1	95.4	94.4					
3	目標								
	実績								
	達成率								
4	目標								
	実績								
	達成率								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 港湾管理運営事業	C	東備港片上港区管理委託事業	内部管理	22,247			22,957			22,336			☆☆☆	\$\$\$	26,633
		東備港鶴海地区小型船舶係留施設使用許可事務	内部管理	0			0			0			☆☆	\$\$	
		県港湾管理事業(新開・坂田水門)負担金	内部管理	255			255			838			☆☆	\$\$	
		(社)日本港湾協会会費	内部管理	58			50			50			☆☆	\$\$	
		港湾都市協議会分担金	内部管理	9			9			9			☆☆	\$\$	
		県港湾漁港協会会費	内部管理	0			0			50			☆☆	\$\$	
		瀬戸内海の漁網ネットワーク推進協議会会費	内部管理	60	5,795	0.30	60	7,053	0.40	60	1,324	0.21	☆☆	\$\$	
		全国海岸協会会費	内部管理	30			30			30			☆☆	\$\$	
		港湾施設維持管理事業	施設維持管理	466			598			0			☆☆	\$\$	
		東備港日生港区野積み場管理事業	内部管理	1,616			397			0			☆☆	\$\$	
		東備港日生地区小型船舶係留施設使用許可事務	内部管理	0			795			0			☆☆	\$\$	
		港湾統計事務	内部管理	0			198			0			☆☆	\$\$\$	
2 港湾建設事業	B	港湾改修県工事負担金	内部管理	37,974	1,850	0.20	45,063	2,805	0.30	25,408	1,043	0.11	☆☆	\$\$	14,440
		港湾改修要望事務	内部管理	0			0			0			☆☆	\$\$	
3 鴻島港整備事業	B	鴻島港整備事業	国県補助事業	7,384	6,632	0.92	10,000	1,380	0.30	9,420	1,964	0.34	☆☆☆	H20終了	0
4 漁港整備事業	B	漁港整備県工事負担金(補助)	内部管理	8,750			2,660			6,417			☆☆☆	\$\$\$	10,920
		漁港整備県工事負担金(単独)	内部管理	4,249	161	0.02	4,084	188	0.03	3,561	374	0.05	☆☆☆	\$\$\$	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				83,098	14,438	1.44	87,156	11,426	1.03	68,179	4,705	0.71	54,993		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	港湾漁港施設整備並びに維持管理	市域の港湾区域のほとんどが県管理港湾であるため、国権との連携を強めることにより施設整備、維持管理の充実ができて利用促進も図れる。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
	一次評価		二次評価		
評価	判断理由		評価	判断理由	
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	2	県管理港湾の施設整備については、県の財政事情もあいなかなか進展していかないと思う	2	県管理港湾等の整備要望箇所によるところが大きく、県の財政状況では全ての要望に答えることは難しい	
2 事業構成の適当性	3	概ね妥当であるが、各種負担金県管理施設の委託金については再考が必要	3	概ね妥当	
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	2	目標値には達していない、特に県工事実施率は、大きく下回っている。しかし、施策としては、港湾漁港関係者にとっては有効	2	19年度は、要望件数が多かったため実施率が前年を大きく下回っている	
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	委託金、負担金の見直しを県と協議し進めてほしい。特に、片上港区委託事業については、県において指定管理者制度の導入を強力に進めてほしい。		県管理港湾の改修については、引き続き県に要望する。また、高潮対策等についても協議、要望すること		
二次評価者コメント	岡山沿岸海岸保全基本計画(H20年3月岡山県)に基づく高潮対策を、関係機関と協議しながらどのように実施していくのが今後の課題である				基本施策への貢献度
役職 産業部長 氏名 玉垣 和志					3中立